

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要				1-2 外観			
建物名称	(仮称)ハローデイ本城東店			階数	地上1F		
建設地	福岡県北九州市八幡西区本城東4			構造	S造		
用途地域	商業地域、防火地域			平均居住人員	0 人		
気候区分				年間使用時間	4,380 時間/年		
建物用途	物販店,			評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2017年6月 予定			評価の実施日	2016年12月28日		
敷地面積	5,534 m ²			作成者	双葉設計 前原		
建築面積	3,318 m ²			確認日	2016年12月28日		
延床面積	2,996 m ²			確認者	双葉設計 藤田		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

100

50

0

3.0

1.5

0

BEE=1.0

0.5

0

Q

環境品質

環境負荷 L

42

0.7

56

S

A

B+

B-

C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

建設

修繕・更新・解体

運用

オンサイト

オフサイト

①参照値

②建築物の取組み

③上記+②以外の

④上記+

100%

99%

99%

99%

0 46 92 138 184 230 276 322 368

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

5

4

3

2

1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

5

4

3

2

1

2.6

2.6

3.0

3.0

音環境

温熱環境

光・視環境

空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

5

4

3

2

1

3.0

2.8

2.8

機能性

耐用性

対応性

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.2

5

4

3

2

1

1.0

3.0

2.5

生物環境

まちなみ

地域性・

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

5

4

3

2

1

3.0

3.0

3.0

3.0

建物外皮の

自然エネ

設備システ

効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

5

4

3

2

1

2.2

2.5

3.0

水資源

非再生材料の

汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=2.6

5

4

3

2

1

3.0

2.4

2.4

地球温暖化

地域環境

周辺環境

Q のスコア= 2.6

LR のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項

総合

計画建築物の形状を単純な箱型とし室内各室も出来るだけ開口部の無い壁に囲まれた計画とし省エネを心がけました。

敷地境界線周りには出来るだけ植栽をし周辺環境に配慮し、建物東南側は屋外駐車場とし開放感のある空間を設け、ピロティコンコースと連続させる事により風通しの良い計画とします。

Q1 室内環境

計画建築物の形状を単純な箱型とし室内各室も出来るだけ開口部の無い壁に囲まれた計画とし省エネを心がけました。直天のスーパーマーケット店舗以外は、天井裏に断熱材 t100敷き、省エネに配慮しています。

Q2 サービス性能

バリアフリー法、福岡県福祉のまちづくり条例に則り店内通路、便所、階段、昇降機、駐車場、店内敷地内誘導通路を整備致します。

Q3 室外環境 (敷地内)

敷地境界廻りに植栽をし周辺環境に配慮するとともに、出来る限り屋外駐車場を取り囲むように植栽する事により、店舗利用車両から発せられる熱を出来るだけ隣地に出さないように配慮しています。

LR1 エネルギー

計画建築物の形状を単純な箱型とし室内各室も出来るだけ開口部の無い壁に囲まれた計画とし省エネを心がけました。その為冷暖房効率が上がリ、CEC値の成績が良くなりました。

LR2 資源・マテリアル

化学物質排出把握管理促進法対象物質を含有しない建材を使用します。フロン・ハロン含有の消火材、断熱材、冷媒を使用しません。

LR3 敷地外環境

ピロティコンコース、植栽により敷地内日陰形成面積が大きくなります。

その他

計画建築物は物販店の為、回収した廃棄物、リサイクルとなるダンボールは1階に専用置場室を設け、指定業者に回収させる仕組みと致します。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される